

『介護』って幸せを見つける仕事 — 中高生への福祉職場紹介事業 —

(群馬県)

社会福祉法人永光会

特別養護老人ホーム永光荘 施設長 村上 忠明 (老-39期、No.5310)



はじめに

平成28年度日本福祉施設士会 第29回関東甲信越静ブロックセミナーは、大会テーマを「人が育ち、社会が求める組織作り」として、開催された。

高齢者介護にかかわらず、福祉業界は全体として求人難である。今日、明日のスタッフを求めているのは、どこも同じ状況である。

その手当も重要であるが、この先を考えた場合に、子ども達の職業選択肢に我々の仕事が入っていることが大切と考え、群馬県老人福祉施設協議会(以下、県老施協)は、『知ってもらおう介護の仕事』事業を始めた。この活動の紹介と自身の取組みを実践報告させてもらった。その内容をまとめてみた。

1. 介護の日(11月11日)の取組み

介護の日は、平成20年7月27日の「福祉人材フォーラム」において、厚生労働大臣より以下のように発表された。

『厚生労働省においては、「介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観

点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日」として、「11月11日」を「介護の日」と決めました。』

これを受け、群馬県は県事業として、福祉各関係団体と協同で介護の日にイベントを企画、

*ガイドブックを作成
表紙



◎写真は、平成26年度のフォトコンテスト最優秀賞・優秀賞作品

県老協も介護について広く県民に知ってもらうため、各法人・施設の広報紙コンテストを実施し、来場者に投票してもらっている(現在は、フォトコンテスト二次審査も行っている)。

2. 老協フォトコンテストの開催

介護の日イベントは県庁で行われ、来場者はこのイベントに参加するために来られる方がほとんどである。県老協として、更に広く一般の方に施設や介護がネガティブなものではなく、明るく楽しい側面が多いことを伝えていくために、こ

の取組を発展させて、県内の大型商業施設の協力の下、夏休み期間(2施設=7~10日間ずつ展示)にフォトコンテストを開催して、サービス利用をする方々の『笑顔』を紹介している。

特に、若い夫婦が小さな子と高齢者の笑顔の写真を見て一緒に微笑んでいるのは、とてもうれしい光景である。

コンテスト当日は、群馬県のゆるキャラ「ぐんまちゃん」と平成25年からは、県老協のゆるキャラ「Gちゃん」の応援を受け、来客の皆さんに投票の呼びかけや介護の日のPRを行っている。

Q1 介護の仕事とは？

A1 高齢や障害で身体・精神機能が低下した方やその家族の(命・生活・人生)を支える大切な仕事です。具体的には食事や入浴、移動、排泄などの生活支援やリハビリや趣味活動、外出などの自立支援や本人や家族の相談にのることや心のケアが主な仕事です。

Q2 介護職に向いている人は？

A2 次に挙げることにあてはまるものが1つでもある人は介護職に向いています。
優しい人/素直な人/謙虚な人/気が配れる人/思いやりがある人/人の気持ちに敏感な人/人の話が聴ける人/相手の立場にたてる人/挨拶ができる人/元気のある人/向上心がある人/観察力がある人/創造性の豊かな人/発想力が高い人/行動力がある人/真面目な人/コツコツ努力ができる人/根気がある人/働くことが好きな人/体を動かすことが好きな人/楽しいことが好きな人/人の笑顔を見るのが好きな人/人を喜ばせることが好きな人/人に感謝されるのが好きな人/人の役に立ちたいと思う人

Q3 介護職の活躍の場は？

A3 総人口は減少していますが、介護が必要な高齢者は年々増えています。平成37年には約3人に1人が高齢者となることが予想されます。国民の福祉サービスの充実・向上の中心的役割を担う介護職に対する期待やニーズは高まり、活躍の場は益々広がっています。

Q4 具体的にはどんなところで働くの？

A4 多様な施設・事業所があります。代表的な施設を紹介します。
養老老人ホーム/特別養護老人ホーム/老人保健施設/軽費老人ホーム(ケアハウス)/障害者施設/ヘルプステーション/デイサービスセンター/グループホーム/有料老人ホーム/サービス付き高齢者住宅/居宅介護支援事業所/地域包括支援センターなどです。最近では旅行会社や結婚式場などでも必要とされています。

Q5 夢のある仕事ですか？

A5 本人のやる気に応じて様々なキャリアアップができます。特別養護老人ホームなどの施設の介護職員を抜擢し、資格をとって相談業務につくこともできます。施設の中でリーダーや主任など指導者として活躍し、施設長や管理者になる人もいます。ケアマネジャーとして在宅介護の中心的存在として活躍することもできます。新規施設の立ち上げスタッフとして活躍する人もいます。現場経験後、専門学校や大学の講師になる人もいます。もちろん、介護のプロフェッショナルになる人もいます。

Q6 家庭との両立は？

A6 介護職の人は家庭を大切にする人もたくさんいます。女性は産休・育休をとって職場復帰して活躍している人がたくさんいます。子育てが一段落してから、再び正社員として活躍している女性もたくさんいます。男性も育児に積極的に参加するイクメンがたくさんいます。親の介護が必要になっても、慣れているから心配りません。まわり相談できる人もたくさんいるので安心です。家庭を大切にできる仕事です。

Q2: 介護に向いている人は?

A2: 次にあげることにあてはまるものが1つでもある人は介護職に向いています。

優しい人・素直な人・謙虚な人・気が配れる人・思いやりがある人・人の気持ちに敏感な人・人の話が聴ける人・相手の立場にたてる人・挨拶ができる人・元気のある人・向上心がある人・観察力がある人・創造性の豊かな人・発想力がある人・行動力がある人・真面目な人・コツコツ努力ができる人・根気がある人・働くことが好きな人・体を動かすことが好きな人・楽しいことが好きな人・人の笑顔を見るのが好きな人・人を喜ばせることが好きな人・人に感謝されるのが好きな人・人の役に立ちたい人

◎上記に1つでもあてはまる人は、介護職に向いている。誰でも向いている。

介護職員さんにインタビュー



◎介護職員さんにインタビュー：会員施設の職員に仕事の魅力や生活との両立についてインタビュー

介護の仕事に就くための学び

介護福祉士とは

高齢で身体機能が低下した方や障害があり生活に不自由が生じている方のために、食事や入浴、移動などの支援を行う仕事です。また、本人や家族の相談にのる仕事です。介護の専門職であり国家資格です。国家試験に合格した人しか「介護福祉士」と名乗ることができません。

群馬県内で介護福祉士国家試験受験資格を目指す学校(養成校)

大学	●東京福祉大学(4年制) ●高崎健康福祉大学(4年制)
短期大学	●群馬医療福祉大学短期大学部(2年制)
専門学校	●群馬社会福祉専門学校(保育2年+介護1年) ●前橋医療福祉専門学校(2年制) ●大泉保育福祉専門学校(2年制) ●群馬バス大学福祉専門学校(2年制) ●専門学校高崎福祉医療カレッジ(2年制) ●大泉簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校(2年制)
高等学校	●群馬県立吾妻高等学校 ●群馬県立伊勢崎県立高等学校

【補足】——介護福祉士は、社会福祉士及び介護福祉士により定められた介護、福祉分野の国家資格です。資格制度創設後10年以上を経て、介護福祉士に求められる役割が大きく変化しています。身の回りの世話をするだけの介護から、高齢者や障害者などの生活や社会生活に関わることで利用者の暮らしを支え、自立に向けた介護利用や医療と連携することへと変わってきています。さらに、これからの介護福祉士は、国民の福祉サービスの充実・向上の中心的役割を担っている資格者として、(1)豊かな感性、(2)観察力・情報分析能力、(3)介護目標・計画の立案能力などが求められるよう努力することが必要です。(公益社団法人日本介護福祉士HPより引用)

介護職員初任者研修・実務者研修とは

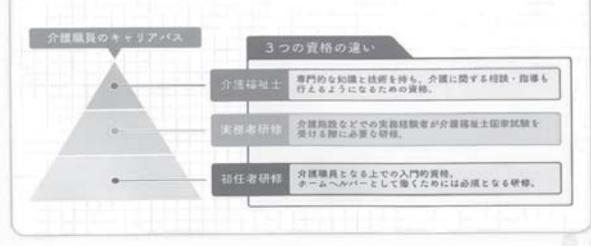
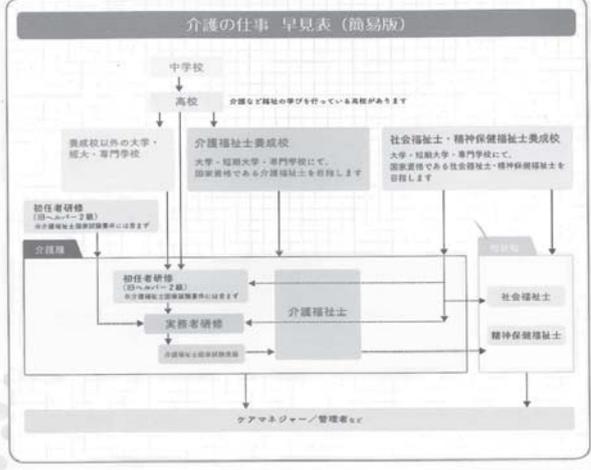
初任者研修は、以前のホームヘルパー養成研修のことです。高齢で身体機能が低下した方や障害があり生活に不自由が生じている方などのために、食事や入浴、移動などの支援を行う仕事であり、介護の初歩的なことを学びます。群馬県内の高校(●県立藤岡北高校、●県立万場高校、●県立安中総合学園高校、●県立新田南高校、●県立吾妻高校、●私立桐生第一高校など)でも学ぶことができます。実務者研修受講かつ介護現場で3年以上働いた方は、国家資格である介護福祉士国家試験の受験をすることができます。研修は、社会福祉法人や民間会社などが講座を開いています。

社会福祉士・精神保健福祉士とは

ソーシャルワーカーと呼ばれる仕事の国家資格です。子ども、高齢者、障害者、低所得者、失業者、母子家庭など、日常生活に困難がある方の相談にのる仕事です。大学などで国家試験受験資格を得て国家試験に合格した人しか「社会福祉士」「精神保健福祉士」と名乗ることができません。介護職として就職する人もいます。

介護支援専門員(ケアマネジャー)とは

介護保険制度においてケアマネジメントを実施する有資格者です。要支援・要介護認定を受けた人から相談を受け、ケアプランを作成し、他の介護サービス事業者との連絡調整などを行う仕事です。介護職員やソーシャルワーカーとして、福祉施設などで5年以上働いた方は受験することができます。



◎介護に関係する資格の紹介とその資格の取得方法を解説。実際に話を聞いている生徒が、資格取得するときには、制度の変更があり説明が難しかった。



ガイドブックに沿って話すことで、どこでも一定の情報を提供できる。

フォトコンテスト出展作品をDVDにスライドショーにして、生徒に見てもらおう。利用者と職員の笑顔が次から次へと出てくるスライドは、生徒の気持ちに届いた様子。

群馬県老施協のマスコット『Gちゃん』

着ぐるみも完成し、29年度ゆるキャラグランプリに登録中

その後の関係機関の方を含めた審査を行い、最優秀賞1・優秀賞2等を選出し表彰している。これらの作品は、県老施協のホームページの表紙を飾っている。

3. 『知ってもらおう介護の仕事』

各施設は、地元の小学校、中学校、高校等で、福祉体験学習の講師や職場体験学習の受入れ、ボランティア等、様々な形でかわわりを持ち、働きかけも行ってきている。これを個々の施設や地域での取り組みだけでなく、県老施協として県内全域で取り組み、将来の職業を考えたときの選択肢として、福祉や介護分野に興味を持ってもらえればと県老施協広報委員会を中心となり企画し、27年度は、県内の中学校27校で実施した。

4. 中学生に伝えたいこと

私は、弊法人で行ってきた福祉体験学習や職場体験・ボランティア体験等で、中学生等に必ず伝えてきたことがある。

「皆さんは幸せになりたいですか？」

「自分の幸せっていう気持ちやうれしいという気持ちをより大きくするためにどうしますか？」

⇒家族や友達に伝え、一緒に喜んでもらう。

「その家族や友人が病気やけがで苦しんでいるら、どうする？」

⇒伝えられないし、その人の前で喜べない。

「どうすればいい？」

⇒早く治って欲しい。

「自分が幸せを感じるために、自分の周りの人に幸せになってもらおう。まず、自分の周りから、家族や友達、学校のみんなや地域の

人、群馬県の人、日本人、世界って広がっていくこと。中学生のみんなできること。家族や友達を大切にすること。」

5. 中学2年生の感想から(原文のまま)

◎介護士になるのは、難しいけれど、とても働きがいのあっていい仕事だと思いました。まさに幸せを見つける仕事だと思いました。福祉は、大変なイメージしかなかったけれど、いいイメージを持つことができました。介護の仕事にとっても興味を持ちました。

◎スライドショーで、どの写真も人の笑顔が必ずあったのが印象的でした。福祉や介護の仕事を通して人に笑顔を与えられるのはすばらしいと思いました。僕は村上さんが授業の初めにおっしゃっていた周りの友達を笑顔にすることを学校生活でやっていきたいです。

◎人は必ずおいていき、やがて人の手が必要になる。だから介護士さんがいることがよく分かりました。また、福祉関係の職につきたい人はだれでもOKだということも初めて知りました。この研修を受けるまで、全く興味がありませんでした。でも今日受けてみて、少し興味がわいてきて、たいけんしてみたいなあと思

ました。

◎私は、おじいちゃん、おばあちゃんが好きなので、その人の笑顔が見れる「介護」という職場はいいなあ思いました。少し将来について、もう一度考えてみようと思います。

もちろん、全く興味がないという感想もあった。大切にしたいのは、体験してみたいと言ってくれた子たちにタイムリーに体験させてあげることだと思うが、まだそこまでは連携が取れてはいない。

先生方の中にも、「自分が幸せになるために自分の周りの人に幸せになってもらおう、ということが、周りに優しくなれるように働きかける良い言葉だ」とおっしゃっていただけた。

この取組みの企画が決定して、すぐに地元の中学校に連絡を入れ、相談をさせていただいた。校長先生・教頭先生が対応してくださり、ちょうど、今後の学校行事等の予定確認を行うので、そこで、カリキュラムに組み入れてくださること(学年は2年生か3年生)。実際は、2年生を対象に話をさせていただいた。

今後この取組みが、少しずつでも実っていくことを信じて、継続していきたい。